

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こころとそだちの広場 にじいろ昆陽				公表日		2026 年 2 月 12 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・指導訓練室は、定員数に合わせた環境を設定している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・法令に基づき、職員配置をしている。 ・より手厚い支援となるように、職員の増員も検討している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・入口には、スロープもあり、バリアフリーとなっている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、清掃を実施すると共に安全確認をしている。 ・危険と感じる場所には、対策をしている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じて、個別の部屋が使用できるような環境となっている。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・定期的に会議を実施している。	・ PDCAシートのようなものは、作成ができていないため、効率良く活用できる内容を検討し、実施していく。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に一度、保護者様向けアンケートを実施し、業務改善に繋げています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員の個別面談や定期的に研修や会議を実施し、意見交換をし、業務改善に努めている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者評価を実施していない。	・ 外部評価を受け、評価結果を業務改善に繋げていけるよう検討したい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に社内外研修やマニュアルの読み合わせを実施している。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成し、公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・アセスメントを適切に行った上で、児童発達支援計画を作成している。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・アセスメントをもとに、職員間でニーズ・課題について話し合い共通理解し、子どもの最善利益となるように考えている。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・児童発達支援計画をもとに支援内容を考え、実施している。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	・標準化されたアセスメントを活用ができていない。	・ アセスメントツールの活用を検討し、活用を考えていきたい。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に表記している。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個別・集団療育共に、情報共有や意見交換をしている。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・個々にあった内容で工夫してプログラムを考えている。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・作成している。 ・集団活動は年長クラス向けのみ実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・開始前に個々に合わせたプログラムを職員間で打ち合わせている。 ・集団活動前に全体で打合せ時間を設定しているが、個別活動前は関係職員間でのみ行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後に振り返りをし、情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援終了後に、様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年毎にモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成し、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	・参加できていない。	・今後、関係機関との会議へ参加に向けて考え、資質向上できるようにしていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・一部、電話で連携を図っている。	・一部との連携となっているため、連携機関を増やし、より良い支援ができる体制を整えられるように考えていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・保護者様を通じて、全員ではないが、児童発達支援事業所とお子さまが通う園とが計画書を確認し、情報共有を図っている。 ・必要に応じて、電話でのお子さまの様子の意見交換をしている。	・情報共有を密にし、ご家庭・通う園・事業所が一体となって子どもの最善の利益となる支援を考えられるように考えていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・保護者さまの要望に応じて今後も情報提供を行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・研修があれば、積極的に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・交流する機会は、作れていないが、地域のお子さまが利用できる環境はある。	・他施設との交流ができる機会を考えていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者さまが毎回、一緒に来所してくださり、支援の様子を見ながらお話しする機会があるので、その際に共通理解を持てるようなお話を心掛けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・保護者さまに参加いただく機会やお話を通じて保護者支援を実施している。 ・家庭支援プログラム化は、していない。	・家族支援プログラムを考え、実施できるように取り組んでいきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・丁寧な説明を心掛けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・児童発達支援計画を作成する前に、モニタリング内容を説明し、子どもの最善の利益を考慮し、保護者様からの意向を確認する機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・丁寧に指導発達支援計画の支援内容を説明し、保護者様から同意を得た上で、サインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・保護者さまに参加いただく機会やお話を通じて保護者支援を実施している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・実施していない。	・実施することが難しいため、実施する可能性は低いと考えている。 ・イベントの内容を考える時には、交流を含めた内容を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・毎回、保護者様も一緒に来所していただいていますので、相談や申し入れの対応ができる環境を整えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・情報の発信は不定期でしか実施できていない。	・定期的に情報の発信ができる体制づくりを検討する。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・取り扱いについては、十分に留意している。 ・定期的に個人情報を扱う際の正しい理解ができるように研修を実施している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・伝え方や必要に応じて絵カードや物を見せて丁寧な配慮をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・月に2回地域のお子さま対象に事業所解放を実施している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルの策定、周知を実施している。 ・保護者さまへの周知が徹底できていない。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間の計画を立て、訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・事業所を利用開始前に保護者様からお子さまの様子をヒアリングし、子どもの状況を職員間で確認し、把握している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・食事提供はしていない ・初回のヒアリングにてアレルギーの有無を確認している。	・保護者さまより、お子さまの情報共有をいただいているため、聞き漏れのないように今後も努める。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画をもとに定期的に備品の安全確認や研修を実施しているため、安全管理が行われた中で支援ができています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・ご家族の方への周知はできていない。	・安全確保に関して保護者さまとの連携が取れるように、避難方法等も周知する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・記入後に職員間で回覧として回し、内容を把握すると共に、再発防止に向けた対策の改善や安全への意識を高められるようにしてい	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・マニュアルの読み合わせや研修を実施し、職員間で周知している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・マニュアル策定、周知、研修を実施し、やむを得ず身体拘束を行う場合についての基準を組織的に決定、相談し易い体制を整えている。	